

第3回教区寺院セミナー アンケート 集計

1、「保護司」と「保護司活動」は知っていましたか。

- ・知ってます 3名
- ・はい 4名
- ・知っている。近所の檀家さんに保護司の方がおられます。
- ・知っていたが詳細は知らなかった。 2名
- ・なんとなくのイメージのみでした。
お話を聞いて、具体的な活動の意味が少しわかりました。
- ・名前は知っていましたが内容はよくわかりませんでした。
- ・先住職（父）が20年間活動していました。引退の時、私に引継の話がありましたがその時私はまだ若輩だったのでお断りした次第です。
- ・師匠が一時期勤めていたので、概要は知っています。
- ・「保護司」は知っている。「保護司活動」は知らなかった。
- ・活動の内容は知りませんでした。
- ・全然知らなかった

2、「更生保護」について感想をお書き下さい。

- ・保護司をやっているから、更生保護がこんなに難しいものとは思いませんでした。
- ・あくまでも自立できるための援助なのだろうが、それは社会全体の理解に基づくものであると思われる。一方で犯罪被害者に対する保護やケアも必要になっているのではないか。理念としては強く同意する。
- ・小学校の教科書に載っていた芥川龍之介の「クモの糸」のお釈迦様が救おうとした行為と同じなのであろう。
- ・犯罪を犯すことはその人だけの責任ではない。
再犯を犯さないようにその人に寄り添ってくれる社会と人が必要だと思う。
- ・3人の先生方のお話は、興味深くお聞きしました。
難しい仕事だと思います。宗教者ならではの活動ではないでしょうか。
- ・自分自身の行いさえ、きちんとしていない状況の中では人様を更生させるなどという事は、非常におこがましい気持ちでいるのが正直な感想です。
- ・復帰できる社会が良いと思うが被害者の方を手厚くしてほしい
- ・いろいろな機関でサポートしているのだと初めて知った。
- ・差別問題と直結していると思いました。
- ・相手のあることで、しかも様々性格の人がいると思いますので対応が難しそうですが、少なくとも「相談相手」として信頼してもらえる保護司にならなければいけないと思いました。
- ・地味で根気のいる難しい仕事ですが、犯罪（再犯）と予防するにはどうしても必要だと思います。
- ・「やり直しを認める社会」の環境作りは必要なことだと思います。
犯罪に限らず、小さな失敗でも寛容になりたい。
- ・貴重で尊い仕事であると思います。

3、「保護司の活動」について感想を書きください。

- ・今回、教区の方々に、保護司の活動を知っていただいたので、保護司依頼があったら受けてほしい。
- ・保護司活動を通して僧侶としても寺院住職としての活動にも活きている（活かされている）と感じました。
- ・上記の項目と重なるが、ボランティアを基本とする活動であり、社会全体の理解が必要だが、そのようなことを形成できなくなってもいる様子が、随所にみられるようになってきているのではないか。あと、再犯率の高い性犯罪者など、どのように扱うかバランスも必要だと強く思う。
- ・社会に必要な仕事ということを感じました。
- ・やりがいのある仕事だと感じました。
- ・多業種の方が集まって務められると思うので、個人的には見聞も広がり人脈も広がり、良い縁を得られそうな気がします。
- ・僧侶に最も適した「社会貢献活動」と思いますので、是非教区としても勧めてください。
- ・私の父も保護司を勤めさせて頂いていますが、多少なりとの気持ちが分かりました。
- ・ボランティアに関わらず、肉体・精神的にも大変なことをされているのがすばらしいと思った。
- ・3人の経験談をお聞きして、大変な仕事だと感じました。
- ・大変な仕事だと思います。
- ・時間がとられるので、大変だと思った。
- ・大変なご苦労だと思った
- ・時間と人格が必要で大変な活動だと思う
- ・一応、PTA活動5年、主任児童委員を9年ボランティアとしてさせて頂きましたが、保護司さんの活動に比べたら足元にも及ばないものです。とても私には出来ません。
- ・簡単なことではないと思った。
- ・社会的にとっても重要な仕事の割に見返りが少なすぎるのではないかと感じました。
- ・自分には性格的に出来ないと思う。
- ・非力な者には、活動を全う出来ない。

4、保護司に推薦されましたら受けますか。

・受ける 理由

- ・僧侶という生き方を選ぶ以上、受けてたつ心構えが必要。
- ・現在、総代さんが勤められており、日頃の付き合いと義理、恩などがありますので、謹んで受けようと思います。
- ・教区内保護司様の話を伺い、僧侶としてだけでなく、人として貢献したいと思いました。
- ・自分自身若かりし頃お世話になった。恩返しではないが、少しでも報いたい気持ちがあります。

・受けない 理由

- ・犯罪者の気持ちが理解出来ないと思う
- ・不良少年・悪人と接するのが怖い。
- ・見ず知らずの前科のある人と心を開いて話せない。

- ・社会的な役職にいくつか就いているので時間的余裕がない
- ・すでに社会貢献活動を5種類行っており、これ以上受けるのは無理
- ・今のところ余裕がないが環境を整えばと思う
- ・先生方の苦勞を知ったので。69才なので不可
もっと若ければ可だと思うが妻とも相談しなければならないと思う。
- ・多分受からないから
- ・その他
 - ・現在保護司 3名
 - ・悩ましい
 - ・受けるも受けないも、その時の状況、任期などによる。
「時間に余裕のある方」という説明があったが、そう言われてしまうとしばらくの間難しいと言わざるを得ない。

5、今後の教区寺院セミナーでどのような内容を希望されますか。

- ・花園大学教授の佐々木閑先生のお話をもう一度拝聴したいと思います。
- ・他宗のお坊さんを講師にお呼びする。
- ・女性の講師を呼んで下さい。
- ・これからの家制度
人々の意識の変化が儀式をどのように変容させるのか？（出産・結婚・葬儀・法要など）
- ・法式実習
- ・今回とても良いテーマだと思った。
法律・犯罪・道徳・倫理と絡めて僧侶はどうあるべきかを考える研修はとても良いと思います。
- ・このシリーズは興味深いので次をしてはどうでしょうか。
2年程前の「月刊住職」によると、僧侶が出来る社会貢献活動が43種類あるといいますから。
- ・今回は途中参加となりましたが意義深いお話でした。
今回のように様々な形で社会で何かしらの役割を担っている先輩和尚様方のお話を伺いたい。
- ・保護司はすばらしく又、大変な仕事だと思う